

## 難病対策、年金に関する舛添厚労大臣の発言

### 難病対策費を100億円台に大幅増 舛添厚労相が表明

2008年6月21日 19時59分配信 産経新聞

舛添要一厚生労働相は21日、北九州市内で講演し、難病に関する原因究明や治療方法を研究する「難治性疾患克服研究事業」について、今年度24億円の予算を来年度は100億円台まで大幅に引き上げる考えを明らかにした。

同事業は、症例数が少なく、原因不明で治療方法も未確立な特定の病気について研究班を設置し、治療方法の開発などに取り組む。現在、123の難病が事業の対象に指定されている。

### <厚労相>年金受給資格の期間短縮を検討

2008年6月21日 20時20分配信 毎日新聞

舛添要一厚生労働相は21日、北九州市で講演し、年金の加入期間が25年未満の場合には保険料が掛け捨てとなってしまう現在の受給資格期間について「どう短縮するか真剣に検討したい」と述べた。

受給資格期間の短縮については、厚労省の社会保障審議会年金部会で検討中。与党内にも見直しを求める声が出ているが、政府内からの前向きな発言は舛添氏が初めてだ。

また、舛添氏は国が負担している難病（難治性疾患）研究の09年度予算について、08年度の24億円から「できれば一気に（4倍増の）100億円ぐらいに引き上げたい」と述べ、財務省に要求していく考えを明らかにした。国は現在、パーキンソン病など123の疾患に毎年、研究事業費を計上しているが、財政難から予算はほぼ横ばいが続いている。厚労省は09年度から難病の対象疾患を増やす方針を決めている。

【佐藤丈一】

### 難病研究予算「4倍の100億円に」 厚労相が意向表明

朝日新聞 2008年6月21日

舛添厚生労働相は21日、北九州市内で講演し、治療法が確立していない難病研究の予

算を09年度には08年度の4倍程度に増やす意向を表明した。舛添氏は「難病で困っている人をみんな救ってあげたい。09年度の予算が決まった時、難病対策費が(08年度の)約24億円から100億円に増えた、としたい」と述べ、原因や治療法を究明する「難治性疾患克服研究事業」の対象となる病気を、現在の123疾患から大幅に拡大する考えを示した。

## 【政治】年金受給資格 「短縮考える」舛添厚労相

東京新聞 2008年6月22日 朝刊

舛添要一厚生労働相は二十一日、北九州市で講演し、基礎年金の受給に必要な加入期間について「二十五年かけ続けないともらえないのでは問題が出てくる。五年、十年払えばどうかというような短縮を考えるべき時期に来ている」と述べた。

現在、年金を受給するためには二十五年の制度加入が必要で、未納、未加入による無年金者の増加が懸案となっている。舛添氏は未納問題の解決につながる税方式導入には否定的な考えを示した。

社会保障の充実に関しては「来年度は難病の調査研究予算を二十四億円から百億円に引き上げたい。福田内閣として社会保障重視の方針を打ち出さなければ、次期総選挙で自民党の勝利は難しい」と述べた。